

2020年S Semester 報告書

自粛留学

教養学部教養学科地域文化研究分科アジア・日本研究コース4年 澁谷宗之介

知っての通り、この半年間は世界中の人にとって忘れ難き苦難の日々であった。新型コロナウイルスは中国を起源としているとされ、今や世界中に広まりその感染者数は1800万（8月2日現在）にまで達した。これはあくまで確認されたものだけであるから実際には無症状で気付かぬうちに治癒したものはその数倍から10倍はいてもおかしくはない。いやもっといるかもしれない。死亡者は66万を超え、まだまだ増え続けそうである。ここ日本でも5月6月に入って新規感染者数は一旦落ち着きを見せたと思いきや、7月に入って第二波が教科書通りに急増の様を見せている。家族や身近な人の生命をこの狡猾なウイルスに奪われた人々の心の痛みは計り知れない。私のように留学や様々な計画が全て取り消し、台無しになった人も世界中に無数にいるだろう。失業者や経済的に困難に陥った人も数知れない。そのような状況にあって、自分の状況だけを不憫に思うことはできない。しかしやはり残りの半年間の留学でやろうと思っていたこ

と、行こうと思っていた場所、別れをいうことなく離れ離れになってしまった友人たちを思うと無念でならない。この状況がいつまで続くのかも分からず、いつまた自由に国境を行き来できるようになるのか待ち遠しいばかりだ。

前回の報告書では帰国するまでのことを書いたため、その続きから書こうとは思うものの、オンライン授業の他に書くこともほとんどない。字数を埋めるためにも先学期のことについても多少触れること、ご容赦いただきたい。写真も同様となる。

コロナ・パンデミック

前回の報告書提出から時間が経ち、このパンデミックの全貌もいくらか判明してきたように思う。私は12月末には武漢で正体不明の肺炎が発生しているという情報を得た。その時は人から人への感染は確認されていないということだった。多少の不安を抱えつつも期末試験を終えて香港へ発った。後になってわかったことだが、同時期武漢の李文亮医師らがいち早くSARSと思われる感染症の発生を報告していた。しかし同医師は虚偽の報告をしたとして武漢市当局に処分されてしまった。それからしばらくして突如人から人への感染が確認

されたと発表され、公式発表の感染者数も急増した。それに続くように1月23日には武漢が閉鎖され、未曾有の中国全土外出制限となった。



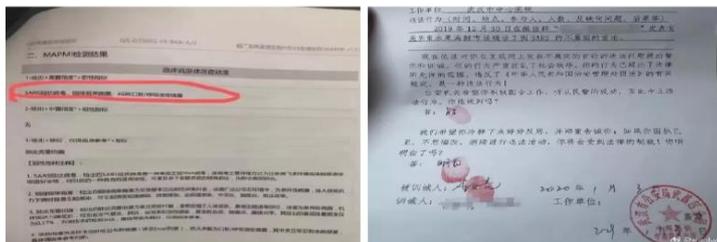
李文亮医師本人と思われる wechat のアカウント。12月30日の時点でコロナウイルスによる感染が確認されたため、家族などへ注意を呼び掛けるよう促している。このスクリーンショット画像がモザイク無しのまま sns で広まったことにより李文亮医師らが特定され、処分されたらしい。

xiaolwl 1-31 13:14 来自贫困家庭iPhone 11 Pro Max +关注

大家好，我是武汉市中心医院眼科医生李文亮。12月30日，我看到一份病人的检测报告，检出SARS冠状病毒高置信度阳性指标，出于提醒同学注意防护的角度，因为我同学也都是临床医生，所以在群里发布了消息说“确诊了7例SARS”。消息发出后，1月3日，公安局找到我并签了训诫书。之后我一直正常工作，在接诊了新冠病毒肺炎患者后，1月10号我开始出现咳嗽症状，11号发热，12号住院。

那时候我还在想通报怎么还在说没有人传人，没有医护人员感染，后来住进了ICU，之前做了一次核酸检测，但一直没出结果。经过治疗最近又进行一次检测，我的核酸显示为阴性了，但目前仍然呼吸困难，无法活动。我的父母也在住院中。

在病房里，我也看到很多网友对我的支持和鼓励，我的心情也会轻松一些，谢谢大家的支持。在此我想特别澄清，我没有被吊销执照，请大家放心，我一定积极配合治疗，争取早日出院！



李文亮医師のものとされる微博の投稿。1月3日に公安局に呼び出されて訓

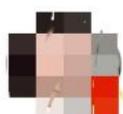
戒書に署名させられたと書いている。

武漢当局が感染拡大を隠蔽しようとしていたことは間違いないようであり、事実後に湖北省と武漢市両方のトップが更迭された。とは言えこれは、中央政府が感染拡大を発表させなかったのか、それとも地方政府の勝手な判断に基づくものなのかは定かではない。更迭された武漢市長は中央政府に責任をなすりつけるような言い方をしていた。当然この市長に対しては怒りの声が噴出し、あた

かも彼一人だけの問題であるかのように非難を受けていた。だが果たしてそうだろうか。どうやら12月初頭には感染者が出ていたらしく、中央政府がそれを知らないはずがあろうか。この新しいウイルスは感染力が強いようで、厄介なことに潜伏期間も長い。中国内で武漢閉鎖後の対応と世界のそれとを比べても、感染が世界中に拡大したことは不可避であったように思うが、もう少し早く知られていればまだ何か対策はできたのではないだろうか。

興味深いのは中国国民の政府に対する世論の変化である。あくまで私の観測範囲内であるので必ずしも正確ではないことを付しておく。先ほどあげた李文亮医師は自身も新型コロナウイルスに感染してしまい、2月7日2時58分に亡くなったとされている。この時、問題になったのは同医師が亡くなった時間である。公式発表では2時58分とされているが、実はその数時間前にはすでに亡くなっていたという情報が流れていたのだ。実際には亡くなっていたのにも関わらず、政府の体面を保つために必死の救命措置を試みているというような公式ニュースが流れ、そのために実際よりも死亡時刻が遅くされたという説が流れた。真偽は定かではないが、そのことに対し亡くなった人の尊厳を侮辱しているとして中国版 Twitter 微博において多くの政府批判コメントが投稿された。その

多くはすでに当局によって消されているものの、あまりにも多くの人の反感を買ったことから消しきれなかったようで翌朝私が目覚めた頃もまだまだ残っていた。武漢がロックダウンされた時、中国との国境すぐ下のラオスのルアンナムターという街にいた私は急遽帰国を決め、北京に寄って荷物を少しばかりまとめて帰国した。日本で微博でのこの現象を目撃した私は、これは滅多に見ることができないと思い、いくらか保存しておいた。この頃は得体の知れないウイルスと、相次ぐ肺炎による死を目前として、人々の政府に対する怒りが盛り上がりを見せている時であった。それを察知したのか政府は、突如として李文亮医師を英雄として祭り上げさえしていた。



2020. 2.6 21:30

！公布真正的死亡时间是对死者起码的尊重！！

我也知道真相！
你这zf太脆弱了，说一句都不行哈哈哈哈哈玻璃zf吗？
共9条回复 >

2-7 12:08

38

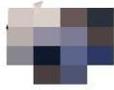


到死国家都在维稳！！！！垃圾

到死国家都在维稳！！！！垃圾

2-7 12:07

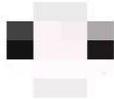
23



没错，互联网是有记忆的。但互联网的记忆不一定是真实的，你我脑海里的才是。

2-7 12:05

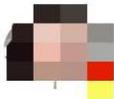
24



他的预警成了谣言，他的死亡成了闹剧

2-7 12:05

29



为什么删了之前那条重新发？

: 你看到的都是假的
 . 因为之前那条写了真实的时间

2-7 12:06

10

-  
日本一名政府人员因为撤侨工作自责跳楼，武汉卫健委、武汉中心医院、武汉市政府、湖北省政府不应该革职查办????? 🤔🤔🤔🤔🤔🤔🤔🤔
- 2-7 12:24   
-
-  
没有真实的内容出来，大家心里都明白
- 2-7 12:24   
-
-  
终究连你也让我失望了！
- 2-7 12:19   
-
-  
杀了一个李文亮，会有千千万万的李文亮，血债血偿。
- 2-7 12:15   
-
-  
推翻社会主义制度，推翻政府！
- 2-7 12:14   
-
-  
疫情不是魔鬼，人才是

新浪というニュースサイトが李文亮の死を報じた投稿に対するコメント。

“正しい死亡時刻を発表することは死者に対する最低限の尊厳だ！”、“真実を書いていない。皆心の中でわかっている。”、“社会主義制度を倒せ！政府を倒せ！”などと政府に対する明確な苛立ちのコメントで埋め尽くされていた。

国民の世論が変わった（あるいは、そのように見えた）のは3月以降新型コロナ

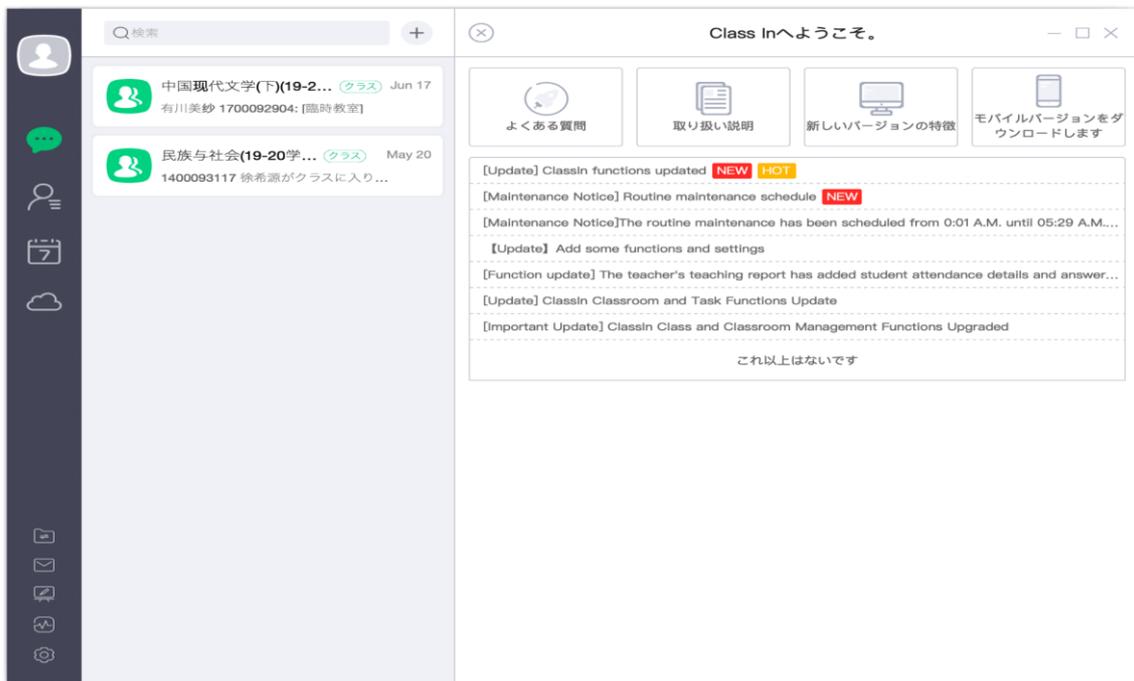
ウイルスが欧州やアメリカで蔓延し始めた時であった、と私は観測している。先進各国でも次々と感染者が増え、足並みがずれたまま、まともに対策も取れていない様子が報道された。ところが中国はというと巨大な患者収容施設を突貫工事で建て、その様子を昼夜問わずネット中継で流し、武漢に人員資源を大量に投入してコロナ撃退に乗り出した。欧州で感染が拡大し始めた頃には新規感染者を全て把握、徹底的な隔離をも実行していた。あたかも中国だけ一人勝ちしているかのように見え、“ウチの政府の対応も悪くなかったじゃないか”という雰囲気徐々に広がり始める。そこでさらに追い討ちをかけるように、中国政府は在外中国人に大使館を通してマスクや消毒液などコロナ対策セットを配布し始めた。これが海外でコロナ禍に苛まれていた中国人達の心をうまくつかんだ。それだけでなく、“台湾同胞”も中国大使館は歓迎するとまで発表された。ここに至り中国政府は完全に自信を取り戻し、世論も好転したように思う。

帰国～留学継続判断

私は1月末に帰国を決め、北京大学から何か通知がこないかと待ちあぐねていた。万一のために2週間は自宅で自主隔離をし、一切の外出を避けた。しかし

中国、対応は早い。学期再開予定日と同日オンラインでの授業を実施する旨、通知があった。専用の Classinn というアプリで暫定的に授業を行うということであった。コロナウイルス収束まで時間がかかる以上当然の措置と言える。しかし

2



Classinn のアプリ。学期期間中、登録していた授業は録画が残されいつでも見返すことができる。

月半ばから授業が再開された直後、突如として東京大学から中国留学中止の通知を受けた。あまりに突然で、学生の都合も一切顧みない東大の判断に唖然とした。当時すでに中国内の感染者数は減少傾向にあったため、あわよくば学期内に

中国に戻れるであろうという期待をしていた。実際中国の公式見解でも 4 月前には収束するという予測がなされていた。もちろん実際にはそうはならなかったが、少なくとも当時はその様な予測が立てられるほど中国内の状況が好転していることは明らかであった。EALAI 事務局を通して東大の判断が早計であると異議を唱えさらに、中国に留学していて一時帰国をしている者、これから派遣される予定だった者で集い、この不当な措置に抗議すべく話し合いに基づいて、各種データや情報を収集、整理、翻訳した上で抗議文を提出したところ、最終的にキャンパスアジアは学部ごとの独自の判断に基づいて留学継続の可否を決めることが可能となった。



新型冠状病毒肺炎 疫情实时动态



疫情地图

辟谣与防护

实时播报

疾病知识

资讯 钟南山团队从尿液中分离出新冠病毒

截至 2020-02-22 19:37 全国数据统计

数据说明

较昨日-2462

53013

现存确诊

较昨日+402

76395

累计确诊

较昨日+1361

5365

现存疑似

较昨日+109

2348

累计死亡

较昨日-156

11477

现存重症

较昨日+2755

21034

累计治愈



同乘查询

患者同乘查询



抗疫物资 每日补货 **限量**

消毒剂、洗手液、温度计, 库存每日更新



母婴健康

在家孕育指南



线上开药

快递送货上门



在线问诊

湖北地区免费



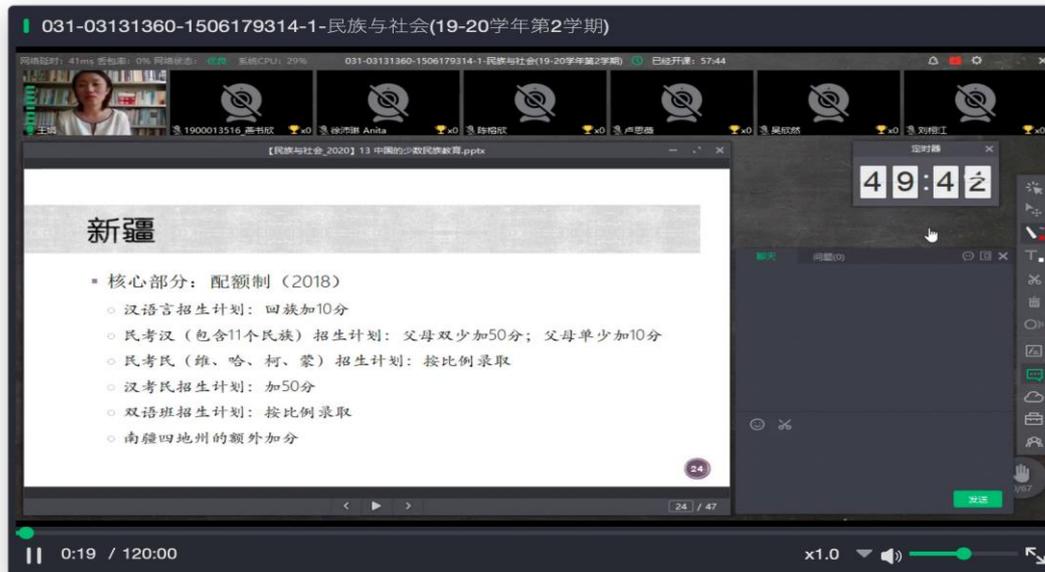
刻一刻と変化する状況を教えてくれたサイト、日に日に使える機能も増えていき、データもとても見やすかった。

ところで北京に置きっぱなしにしてあった荷物はどうしたか話しておこう。

私同様一時帰国のつもりで荷物を寮に置いていった留学生が大半であった様だった。これが厄介で、7月末で私のビザは切れるし（そもそもコロナ禍で無効に

なっていたかもしれない) 退寮期限も同日になっていた。そのためにそれまでに荷物を撤収しなければならないが、北京にいる知人に頼むか何とかしてパッキングしてもらう必要があった。とは言え学外の人が寮に入るのはなかなか厳しいのではないかと考えあぐねてギリギリまで粘っていた。そこに別の大学から交換留学に来ていた日本人の友人から荷物の送付を手伝ってくれる学生団体があるということで wechat のグループに入れてもらった。WSU(Western Student Union)という公認の学生団体で彼らもまた中関新園に住んでいるため、北京に残っているメンバーがボランティアとして活動し、中関新園事務所に委託書を提出して部屋に入ってもらおうというものであった。お陰様で荷物は1、2週間のうちに、空輸できないものを除いて帰ってきた。輸送費はそこそこかかったが、自分で羽田あるいは成田まで行き、そこから北京に飛んで大学まで行き荷物を詰めて再び帰ってくる手間を考えるととても楽ができたと思える。学生団体には感謝が尽きない。

オンライン授業



オンライン授業アプリ classinn では教師が用意したスライドが投影され、
聊天でいつでも気軽に質問ができる。他にも Tencent Meeting を使った授業
もあった。対面の授業であれば北京大学では受講者が 100 人を超えるものが
多いので、実際にオンラインでの授業となると他者の顔は基本的には見えず、
教師が自分一人だけに話しかけているかのような気分になり集中力は増すこと
があった。また斬新な授業方式に興味を惹かれたのもその一因かもしれない。
実際対面の授業同様、回を重ねるにつれて段々と億劫になってくる。そのため
わざわざ学校に赴いて授業に出る必要がないなど利便性は確かに高いが、（人
によっては）モチベーションの維持という点に関しては対面の授業と同様の

対策が必要になってくるかもしれない。私個人は積極的に実地調査など外に出て活動するのが好きな性格なため、この半年のオンラインのみの授業は苦痛であった。自らオンラインであっても留学継続を望んだ身にあってはこれまた皮肉なことであった。とは言え東大に戻ったとしても結局はオンラインによる授業であり、同じことであつたろう。

今学期履修した授業は民主与社会、中国现代文学、中国近代思想史である。対面の授業と違い、先学期体験した様な政治的に際どい発言などはもちろん聞けなかった。他の学生との交流も持てなかったことからそれぞれがどの様な考え方を持っているかも知れず残念であった。とは言え何か疑問に思ったことがあれば聊天で質問をすればその場で教師が返答してくれるのは新しい感覚であった。対面であれば100人ほどの中国人学生を前に授業を止めていちいち質問するととなると(少なくとも私には)相当勇気がいる。授業によっては発表の回があり、発言したいものが発言する機会を与えられる。人数の関係もあって自由な議論とは言えないがある程度対面授業並みの質が担保されてはいる様に感じた。

期末テストの代わりに論文や读书報告を課す授業が多かった様だ。これはオ

オンライン授業になった日本の大学でも同じ様な状況が見られる様で、学生の負担はかなり増える。もし今後もこの様な体制が続くのであれば、何か対策は必要ではなかろうか。もちろん時間制限内に筆記テストを課すものもあった。その時はこちら側のカメラをオンにして、一応カンニング防止のための監視ということになっていた。とは言え資料などは手元に置いて仕舞えばいくらでも見られる。そのためか最初から資料の参照は許容され、ネットでの検索は禁止するがそれに関しては個人個人の良心を信頼しているということであった。ネットを使っても解けなさそうな問題であったことは言うまでもない、。そろそろ字数がキツくなってきたので、多少前学期での印象的な出来事も書いておきたい。

日本的当代中国研究

日本現代中国学会理事長などを歴任された、中国研究者で早稲田大学名誉教授の毛利和子さんが昨年 12 月 6 日、北京大学で日本当代中国研究と称して講演会を開いた。たまたまそのような講演会が開かれることを知った私は飛び込み参加をして拝聴させていただいた。参加者はおよそ 30 人程度であったろうか。内容は日本における中国研究が戦前から戦後にかけてどのように変化してきたか、また中国が今後どのような道筋を辿っていくのかに関する日本における主

な議論の紹介であった。毛利先生は齒に衣着せぬ表現で有名らしく、中国に真の民主主義が訪れることがあるのかといった点にまで踏み込んだ議論をしていた。そこでは先生自身の世代の国家という概念そのものに対する不信感を持ち出しつつ、中国の中国学研究に対し第三者の視点を積極的に取り入れるなどより開放的になるよう提案をした。私の記憶は鈍いので細かくは覚えていないが、そのようなテーマで話しているため通訳としても全てを通訳すると一線を越えると判断したのか、毛利先生の意見が度々割愛されていることもあったと記憶している。極めつけは講演会の最後に毛利先生が学生たちに発言や質問を呼び掛けた時だった。通訳は見事にそれを無視して講演会を締めくくった。時間がなかったようにも到底思えず、学生から“際どい”発言が出てくることを主催側が恐れていたことだったのではないかと私は勝手に推測している。このことを後日私の指導教官に話すと、中国研究月報で実際に毛利先生自身もそのように感じていたことを述べていたということだった。講演もとても勉強になったばかりか、講演後に一言二言交わす機会をいただけたことはとても有難かった。また学术界にあっても、そのような付度を実際に目にできたことはとても興味深い経験となった。



奥まったところにある部屋での講演会。広い部屋にもかかわらず出席者はまばらだった。

その他にも興味深い体験をいくつかしたものの、書き始めたら際限もないのでこころで筆を置くこととする。最後に今期に自らフィールドワークと称して宮城県大崎市へ赴き、同市にある吉野作造記念館へ行った時に得た知見で締めくくろうかと思う。彼は袁世凱の長子袁克定の家庭教師を務め、孫文らとも交流を持ち、その後中国革命に興味をもった。彼が書いた『支那革命小史』は日本における最初の中国革命史研究であった。彼は民族独立運動への共感を示し、朝鮮などにおける日本の武力による統治政策に強く反対した。中国の革命運動にも

共感し、北京大学教授李大釗と協力して両国大学生の交流事業を実施するなど吉野は中国に並々ならぬ理解を示していた。孫文が三民主義を唱えたのに対し、吉野も民本主義を唱え、孫文はそんな吉野に「天下為公」という直筆の書を送った。「天下は君主個人のものではなく、公民のものである」、今後中国が如何なる道を歩むにせよ、その根幹となすべきものは一つではなかろうか。



留学報告書と言いながら、コロナ禍のルポルタージュのようになってしまった。アフターコロナの世界がどうなっていくのか、どの様に変えていくべきなのか、まだ不透明なことが多く不安を抱える学生も多いことだろう。留学もいつ再開

されるかわからない。拙文ながら参考になれば幸いである。